

いなみ町

議会だより

No.109
2026.4



無縁公供養祭(川又)

令和8年 第1回定例会 等

- 議案審議 P2
- 陳情活動 P3
- 一般質問(4名が登壇)・・・P4～P7
- 団体紹介 P8

議案に対する各議員の賛否

○=賛成 ×=反対

令和8年第1回臨時議会は、
1月28日開会。議案2件を承認、可決して閉会しました。
3月議会は10日に開会。執行部提案の議案20件をすべて可決し、
3月18日に閉会しました。



種類	議案番号	議案内容	榎本	中島	古川	福田	堀口	玉置	前田	谷	木村	片山	黒井
条例	3	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	4	印南町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	5	印南町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	6	印南町国民健康保険税条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	7	印南町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	8	印南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	1	専決処分事項の承認を求めることについて (令和7年度印南町一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	2	令和7年度印南町一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	10	令和7年度印南町一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	11	令和7年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	12	令和7年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	13	令和7年度印南町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	14	令和7年度印南町水道事業会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	15	令和8年度印南町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	16	令和8年度印南町国民健康保険事業特別会計予算について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	17	令和8年度印南町後期高齢者医療特別会計予算について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	18	令和8年度印南町介護保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	19	令和8年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	20	令和8年度印南町同和对策新築家屋貸付金特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	21	令和8年度印南町農業集落排水事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
22	令和8年度印南町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
契約	9	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
請願	2	物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願について	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	

※議案1、2第1回臨時会 その他第1回定例会 ※議長は裁決に加わりません



統合中学校の財源確保の陳情



印南町議会は日裏町長、脇谷副町長、平尾教育長、教育課長と共に
2月26日（木）、に文部科学省、およびスポーツ庁を訪問し、統合中学校に
要する財源確保のために陳情してきました。



スポーツ庁にて



統合中学校 イメージ図

統合中学校における 通学路の整備について

質問

毎日の登下校で、冬季の日没の速さ、雨天時の視界不良、部活の終了後の薄暗い時間帯を考えますと、現在の町道の現状で本当に安全が確保されているのか、強い懸念を抱いています。

町道を利用する生徒の通学路で、道幅が狭い区間や見通しの悪い箇所があり、照明も十分とは言えないところが数多くあると思います。

また、以前とは違う通学路になり、生活道路を利用していた人々と自転車通学が加わることで、歩行者との接触や自動車との接触リスクが高まるのが想定されます。印南八幡神社から旧天理教跡地の狭い区間は、以前から住民の皆様からお声をいただいています。非常に交通量が多いところで

す。通学路の安全対策として、この約50mの町道の幅はできませんか。

答弁 建設課長

ご指摘の旧天理教跡地付近は、幅員が狭いため、離合できない状態であることは承知しています。まずは現在取り組んでいる路線を優先させながら、今後、地域の方々の意見や教育委員会と連携しながら、学校関係者、保護者等と協議を行い、検討していきたいと考えています。



片山 智文
議員

街灯の増設やLED化による照度向上の計画について

質問

子どもたちに暗い道を帰すわけにはいかないと思います。通学路を安全にする責任は、地域の声や要請だけではなく、行政にもあると考えますので、前向きな取組を求めます。

答弁 総務課長

防犯灯設置については、特に沿岸地区を中心に自主防災会の方々と夜歩きをして、「ここが暗いのではないか」ということで、経験を重ねてきています。今回通学路ということで当然、教育委員会の方でも議論は含まれていますが、関係者も含めて、通学路について安全を確保するという認識を

しているところです。

答弁 建設課長

今後の街灯の増設予定ですが、統合中学校造成事業により新たに整備した道路には、避難誘導灯を兼ねた街灯を設置する計画です。



災害時の初動体制を問う

質問

災害時の初動体制は「地域防災計画」の中で重要な位置づけをしています。

最近の災害は規模が大きくなる中で道路陥没、携帯電話が不通など初動体制に大きな影響が出る可能性があります。

印南町では災害の初動体制を考える際、どのような状態を想定していますか。また日頃から訓練や職員同士の意思統一はどのようにしていますか。

答弁 総務課長

庁舎の被災も考慮し、現在の「地域防災計画」では代替施設として、稲原防災センターを想定しています。が新しい「地域防災計画」では防災福祉センターの追加を検討しています。

質問

初動期、一番最初に庁舎に来た職員が何をすればいいのか、誰でも対応できるように、環境を整えておくことが重要で日頃から職員間で確認するなどが重要ではないですか。

答弁 総務課長

職員行動マニュアルの中で現状を把握しどのようなアクションを起こすのか、等の内容を確認している最中です。



榎本 一平
議員

広域林道日高中央線計画を問う

質問

森林は私たちの生活に不可欠な役割を果たしています。

県は林道の計画を進めていますが、印南町にも関係する広域林道日高中央線計画が進められていますか、どのような計画で、印南町にとってどのような役割を果たしますか。

答弁 企画産業課長

日高川町の大滝川を起点とし日高川町、印南町の経平峠を経て、両町のほぼ中央の稜線を経て田辺市龍神村小家谷までを結ぶ延長21・38 km、幅員5 mで事業計画期間は令和6年度から令和15年度までです。

印南町にとっては森林資

源の活用や流域林材業の活性化に果たす役割は大きいと期待されています。



切目川ダム右岸の 道路について



前田 憲男
議員

質問

切目川ダム右岸の道路は、途中まで建設されています、いまだにイベント時などには、「なぜ途中まででなのか」と疑問の声を多く受けます。

私自身も明確な説明がでず、にいました。

今回の質問は、道路の延長を望むのではなく、なぜ途中までなのかと疑問を持たれている方々に回答することが目的です。

答弁 建設課長

この道路は、当初から周回道路として計画されたものではなく、ダム建設により水没する既存町道の付け替えとして整備されたものです。

整備範囲は、畑が存在していた地点までが条件とされ、それ以降は利用目的や

必要性が乏しかったため道路の整備は、実現しなかったものと聞いています。

また、河川の管理道路として延長の可能性も検討されましたが、傾斜が急でトンネル整備が必要となり、河川管理道路としての基準を満たさないため国の認可が得られず、結果として現在の形となっております。

企業の森について

質問

上洞地内には、約2・5町にわたって森林が伐採されたままになっている山林があります。昨年末この場所にある企業の森として手を挙げてくれた企業があるとお聞きしました。

私自身、昨年の町議会選挙の出陣のあいさつで「私

たちの地域では、人口の増加は、なかなか望めない。それよりも交流人口や関係人口を増やし少しでも賑わいを取り戻すのが私のつとめ」と、このような挨拶をさせていただきました。

今回の企業の森の取り組みは、うってつけの事業になります。

昨年末以降の進捗状況をお聞かせ下さい。

答弁 企画産業課長

候補地は、企業に紹介され立地やアクセス面では、高い評価を受けたものの200人余りの方が屋内で一度に食事できるような場所やレクリエーション施設等の受け入れ面で課題があり、県担当者からは、今回の取組には至らなかったとのことでした。

ほかにも興味を持ってく

れている企業が数社あることとです。今後も県と連携しながら情報発信や条件整備に努めていきたいと考えています。



クビアカツヤカミキリの 対策について



木村 栄一
議員

質問

危惧した通り本町でも昨年12月に被害が確認されました。そこで質問します。被害確認後の状況を、県や関係機関とどのような共有をされていますか。

答弁 企画産業課長

直ちに関係諸機関と連携し発生園地周辺の調査を実施し、今後密に情報を共有する体制を構築しています。

質問

被害に遭った生産者への町としての補助は。

答弁 企画産業課長

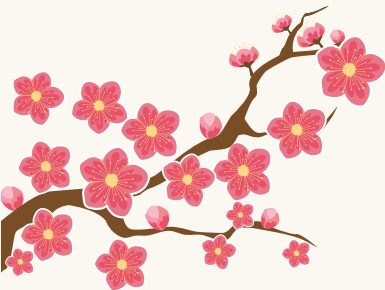
被害を受けた果樹（梅・モモ・スモモ）は伐採し、伐根又は根覆いを実施した場合、被害樹1本3万円。飛散防止のネット被覆は1本当たり4千円です。

質問

予防策としては6月下旬から8月にかけての防除とブルーシートや防草シート等で地上約1・5mまで覆う以外ありません。農家にとっては大きな負担となりますので、町独自の支援はできませんか。

答弁 企画産業課長

今年実施予定の防除の結果を踏まえ、国や県、JAの動向を注視し、効果が得られるようであれば前向きに検討します。



質問

果樹園の経営を放棄した園地への支援を検討できませんか。

答弁 企画産業課長

現状は、次の担い手へつなげられるように努力していきたいと思えます。

質問

他の地域では、サクrahへの被害も確認されています。サクrahへの対策はどのように考えますか。

答弁 生活環境課長

公共用地を中心に早期発見に努めて参りたいと考えます。

質問

今後より広報活動が重要と考えますがどのように取り組めますか。

答弁 企画産業課長

広報紙や啓発チラシに加え、町のホームページやSNSの活用、JAと連携した情報発信など、様々な媒体を通じて周知していきます。



団体紹介

印南マンスリークラブの紹介

クラブの歴史

印南マンスリークラブは、昭和43年6月8日に「印南経営者クラブ（印南MC）」として創立され、その後現在の名称へと改称されました。

クラブの活動

- ・ 印南小・中学校に図書協力金寄付
 - ・ 町事業に協力及びまちづくり団体へ寄付
 - ・ 若者広場進入路に桜植樹
 - ・ 坂本埋立地清掃事業
 - ・ 町制60周年事業に寄付
 - ・ 切目王子国指定記念寄付
 - ・ JAXXA 坂本尚義氏の「はやぶさ帰還」講演会開催（平成31年1月 印南公民館）
 - ・ まちづくりに関する勉強会・講演会の開催（令和8年2月 和高专津波避難シミュレーション発表会等）
- 町の事業への協力や地域の節目となる事業

クラブの目的

本クラブは、会員相互の啓発と親睦を図るとともに、産業経済の研究を通じて経営の近代化・合理化を推進し、地域経済の発展に寄与することを目的としています。

現在の会員数は18名で、会長は石橋幸四郎氏が務めています。

にも積極的に関わるとともに、小中学校への支援をはじめとした地域貢献活動を継続的に行っています。

さらに、まちづくりに関する勉強会や講演会の開催にも力を入れ、地域課題への理解と対応力の向上にも取り組んでいます。



議会広報特別委員会

■ 委員長 古川 眞 ■ 副委員長 榎本 一平
■ 委員 玉置 克彦 / 前田 憲男 / 福田 貴啓 / 片山 智文